

STEADY ACHIEVEMENT

セプテーニグループの成長力

セプテーニグループがインターネット事業を開始したのは2000年。その後、インターネットは人々の生活に広く深く浸透するとともに、あらゆる産業に変革をもたらし、今や社会になくてはならない情報インフラとなりました。同時に、インターネット広告市場も急拡大し、テレビ広告に並ぶ広告メディアとしての地位を確立するに至っています。社会の変化を新たな成長機会と捉え、常に時代に合った、顧客の期待を超えるサービスを提供していきます。

2000年からの売上高・営業利益の年平均成長率

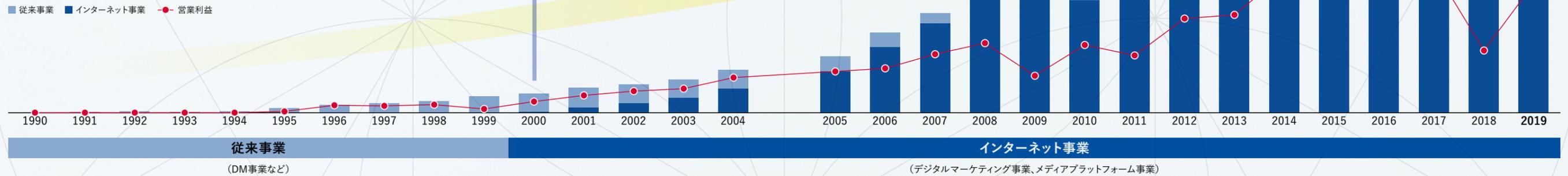
売上高 約**15%** 営業利益 約**14%**

2000年9月期売上高 **49億円** → 15.6倍 → 2019年9月期売上高 **765億円**

2000年9月期営業利益 **1.8億円** → 11.7倍 → 2019年9月期営業利益 **21億円**

(注)2000年9月期は日本基準、2019年9月期はIFRSに基づく数値を記載しています。

売上高・営業利益



インターネットの歴史とインターネット広告市場の変遷

※出典:『情報メディア白書2016』(電通総研)をもとに当社作成

1994～1998

インターネットが広く一般消費者まで普及。バナー広告の時代

- 1994年 電話回線を経由したダイヤルアップ接続の開始
- 1995年 Windows 95が発売開始

1999～2003

いつでもどこでもインターネット。広告手法は多様化(アフィリエイト、リスティング広告)

- 1999年 携帯電話でメールの送受信やウェブページの閲覧を可能にしたiモードが誕生
- 2001年 ADSLの普及により家庭内ネット環境に通信の高速化と低価格化

2004～2007

ソーシャルメディアの黎明期。既存のメディアとクロスさせた広告の試み

- 2004年以降 Facebook、mixi、YouTube、Twitterなどのソーシャルメディアが次々と誕生

2008～2013

アドテクノロジーの進化。“広告枠を買う”から“情報にリーチする人数を買う”という概念へ

- 2008年 iPhone 3Gが発売開始
- リーマンショックが引き金となり、金融工学のプロがインターネット市場に流入
- 2011年 LINE サービス開始

2014～

インターネット広告費は2桁成長。モバイル広告がインターネット広告市場を牽引

- 2017年 日本の広告費においてインターネット広告がテレビ広告に迫る

インターネット広告事業により高成長を実現

成長分野にフォーカスし、さらなる躍進

セプテーニグループの歩み

1990年、現名誉会長である七村守が(株)セプテーニ・ホールディングスの前身となる(株)サブ・アンド・リミナルを設立し、人材採用コンサルティング事業を展開してきました。1993年にDM事業(ダイレクトメール発送代行)を開始。DM事業は順調に成長し、セプテーニグループの基盤がつけられました。その後、現代取締役の佐藤光紀が現在のセプテーニグループにおいて主力事業となっているインターネット広告事業を開始しました。

社是

ひねらんかい

私たちセプテーニグループは独立系で、資本、人、事業など何もない状態からスタートし、社員の知恵やアイデアだけが資産でした。そういった創業の志をいつまでも忘れず、成長を続けていこうということ。「ひねらんかい」という社是を掲げています。



創業者 七村 守

- 2000年3月 株式会社セプテーニに社名を変更
- 2000年4月 インターネット広告事業を開始
- 2001年8月 株式会社店頭市場(ジャズダック)に登録
- 2003年7月 大阪営業所(現 株式会社セプテーニ 関西支社)を開設

- 2004年6月 トライコーン株式会社を子会社化
- 2004年7月 福岡営業所(現 株式会社セプテーニ 福岡支社)を開設
- 2005年1月 株式会社セプテーニ・クロスゲートを設立
- 2005年7月 名古屋営業所(現 株式会社セプテーニ 名古屋支社)を開設
- 2006年4月 株式会社セプテーニ・ダイレクトマーケティングを設立
- 2006年10月 持株会社体制へ移行し、社名を株式会社セプテーニ・ホールディングスに変更。インターネット広告事業を新設分割によって「株式会社セプテーニ」に、DM事業を吸収分割によって「株式会社セプテーニ・ダイレクトマーケティング」にそれぞれ承継

- 2009年10月 MANGO株式会社を設立
- 2010年11月 株式会社ハイスコアを設立
- 2011年10月 株式会社セプテーニ・ベンチャーズを設立
- 2012年3月 インターネット広告事業において、海外展開を開始
- 2013年2月 コミックスマート株式会社を設立し、マンガコンテンツ事業を開始
- 2013年3月 SEPTENI TECHNOLOGY CO., LTD.を設立
- 2013年10月 株式会社ビビビットを設立
- 2014年1月 株式会社セプテーニ・オリジナルを設立
- 2014年10月 株式会社セプテーニ・ダイレクトマーケティングの全株式を譲渡

- 2014年10月 gooddo株式会社を設立
- 2016年10月 株式会社TowaStelaを設立
- Septeni Asia Pacific Pte. Ltd.を通じて、Lion Digital Global LTDの株式を取得し子会社化
- 2017年4月 Septeni Ad Creative株式会社を設立
- 2017年9月 株式会社デライトチューブを設立
- 2018年1月 ミロゴス株式会社を設立
- 2018年4月 株式会社サインコサインを設立
- 2018年10月 HEDGEHOG PRODUCTS株式会社を設立
- 株式会社電通(現 株式会社電通グループ)との間で資本業務提携契約を締結

OUR VALUE CREATION MODEL

セプテーニグループの価値創造モデル

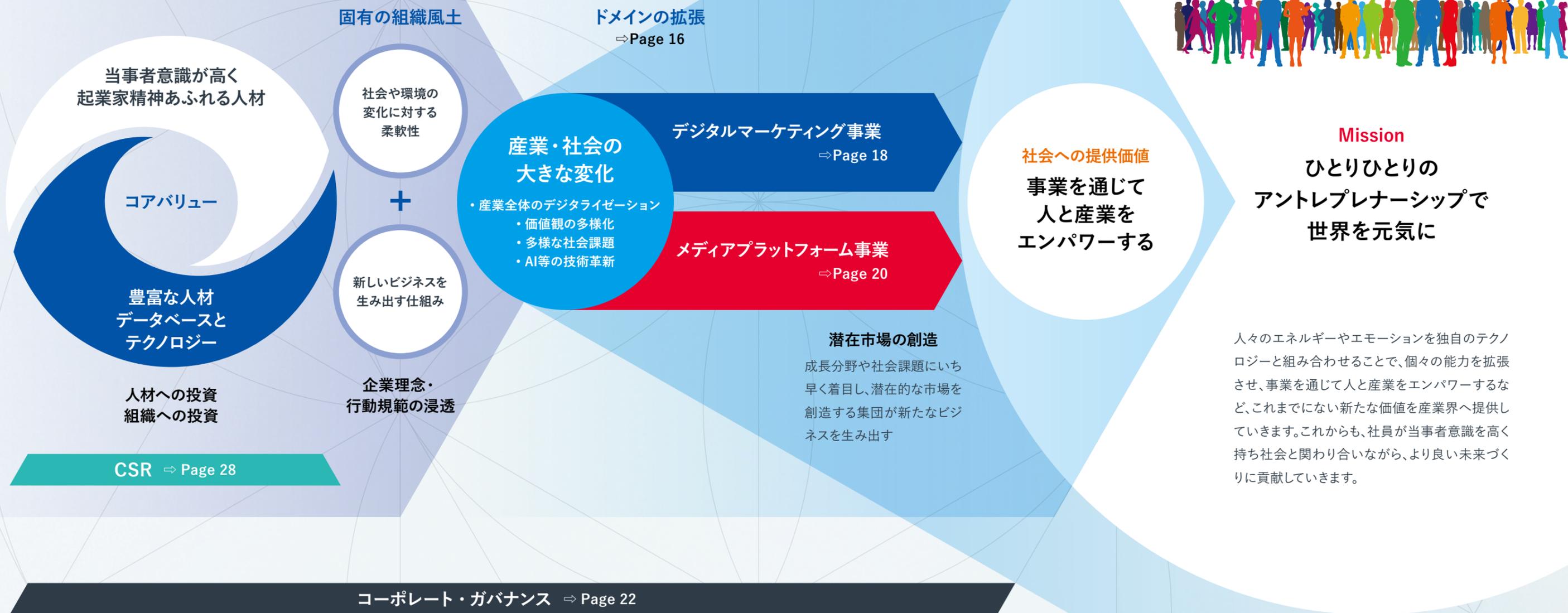
当社グループの事業(アプリケーション)は、固有の強み(OS)によって生み出されています。

「当事者意識が高く起業家精神あふれる人材」が「豊富な人材データベースとテクノロジー」によって、さらに能力を発揮し、固有の組織風土を生み出している状態が固有の強みであるOSです。このOSによって、産業と社会の大きな変化を先んじて捉え、魅力的なアプリケーション(事業)を再現性をもって創出します。そして、人と産業をエンパワーすることで、ミッションである「ひとりひとりのアントレプレナーシップで世界を元気に」の達成を目指しています。

ステークホルダーへのアウトカム

OS (セプテーニグループの強み) ⇒ Page 14

アプリケーション (事業領域)



コーポレート・ガバナンス ⇒ Page 22

OUR STRENGTHS

セプテーニグループの強み

当社グループの最も重要な要素は人的資産であり、「当事者意識が高く起業家精神あふれる人材」です。その人材が、最大限に力を発揮し、活躍できるようにするため、膨大な人材データを蓄積し、独自開発したAI型人事システムを用いて、数年前より人材育成や採用、配属の個別最適化を進めています。

また、当社はこれまで、時代の変化に先駆けて新しいビジネスに挑戦することで成長してきました。その中で根づいた「変化に対する柔軟性」や「新しいビジネスを生み出す仕組み」、そして、それらのベースにある「企業理念・行動規範」を軸とした固有の組織風土を大切に、さらなる事業拡大を図っています。

コアバリュー

1. 当事者意識が高く 起業家精神 あふれる人材

「セプテーニグループは、何のために存在しているのか。私たちの社会における使命とは何なのか」を表したものが、ミッションである「ひとりひとりのアントレプレナーシップで世界を元気に」です。セプテーニグループでは、アントレプレナーシップを「当事者意識が高い人材」「起業家精神あふれる人材」と定義し、これらの資質を備えた人材こそが当社の最大の資産であると考えています。

2. 豊富な 人材データベース とテクノロジー

セプテーニグループでは、社員ひとりひとりのパフォーマンスを最大化することを目的に、2009年よりデータを蓄積し、人材育成に関する研究に取り組んでいます。2014年より本取り組みから得た技術を採用活動にも応用しており、2016年には人材データを専門に研究を行う「人的資産研究所」を設立しました。

※ 詳細は本報告書のP.28「セプテーニグループのCSR」をご覧ください。

セプテーニグループでは、ミッション実現に向け、自分の頭で考え、行動できるアントレプレナー人材を各組織の中核に据え、社員ひとりひとりがその能力を発揮することで、人材をベースに事業を進展させていきたいと考えています。それぞれがアントレプレナーシップを発揮できるよう、多様な挑戦機会を用意し、新しいサービスを生み出しやすい環境・制度を整備しています。

主な施策

施策	概要
自己啓発制度	社外セミナーやビジネススクールなどの受講に対して助成金を支給する制度。社外での能力開発機会の創出を目的に導入。支給金額は総額の70%(上限7万円)。
社員の成長を支援	将来の幹部候補者を育てるためのマネジメント領域に特化した、経営者育成プログラム。公募で選抜を実施し、選抜者は2年間無料で社外のビジネススクールに通うことができる。
副業制度	2017年に承認制の副業制度を解禁。業務外活動を通じて個人が新たなスキルや経験を積むことで、本業でさらなる活躍が期待できると考え、多様な働き方を推進しており、現在70名以上の社員が副業に挑戦している。
挑戦の場を提供	毎年開催している社内新規事業プランコンテスト。事業実現への意欲が高く、かつ事業プランが高く評価された場合、(株)セプテーニ・ベンチャーズにて事業化にチャレンジする機会を提供。
懸賞論文	毎年、「会社の未来」に関するテーマが設定され、自らができごと・すべきことを論文形式で募集し、優秀作品を表彰している。
賞賛の場をつくる	グループおよび各社にてさまざまなアワードを設け、半期または年に1回、社員の功績や挑戦をたたえている。

3. 人材や組織への 投資

固有の組織風土

当社は、世の中の新たな兆候と成長分野をいち早く見極め、経営資源を機動的にシフトし成長してきました。そうした中で、社会の変化を挑戦の機会と捉え楽しむ力や、年齢にかかわらず、誰でも新しいビジネスに挑戦する風土が醸成されました。このような風土(価値観)を明文化した企業理念・行動規範の浸透を図り、全社員で共有することが企業としての持続的成長につながっています。

社会の変化を 新たな成長機会と捉える

- 起業家精神を持ち、変化の大きい方を選ぶ
- 潜在市場を見つける

楽しみながら 新しいビジネスを生み出す

- 社内新規事業プランコンテストなどを開催
- 自己啓発の支援、経営者育成プログラムの実施

コーポレートロゴについて

セプテーニグループは2018年10月に、コーポレートロゴを一新しました。新たなロゴ制作にあたり、グループの強みを表現すべく、コンセプトおよびデザインを決定しています。セプテーニグループは、ミッションである「ひとりひとりのアントレプレナーシップで世界を元気に」の実現に向けて、新しい市場、新しい世界に挑戦していきます。

※ 詳細は当社ウェブサイト(<https://www.septeni-holdings.co.jp/corporatedesign/>)、もしくは右記QRコードからご確認ください。



つよく、やさしく、おもしろく。
ひとりひとりのアントレプレナーシップで世界を元気に。

どんなときも起業家精神を持ち、
変化の大きい方を選んで結果を出す「つよさ」。
成功体験や成長機会を仕組み化し、
多様性を認めながら皆で共有する「やさしさ」。
決して簡単ではないものを、
楽しみながら独自のやり方で実践する「おもしろさ」。
私たちは、これら3つの力で、新しい市場に、新しい世界に挑戦する。